

第36回米軍経ヶ岬通信所の設置に係る安全・安心対策連絡会の概要

○開催日時 令和5年10月12日（木）1100～1200

○場 所 京丹後市役所峰山庁舎2階会議室

○出席者 【京丹後市】副市長

【京都府】総務部副部長

丹後広域振興局地域連携・振興部総務防災課長
(丹後広域振興局長代理)

【京都府警察本部】警備部理事官（警備第一課長代理）

【京丹後警察署】警備課長（京丹後警察署長代理）

【地域住民代表】京丹後市区長連絡協議会会長兼ねて京丹後市防犯委員会会長

京丹後市宇川連合区長会会長兼ねて中浜区長

京丹後市交通安全指導員会会長

京丹後市女性連絡協議会副会長

京丹後市袖志区、尾和区、島津連合区各区長

【米軍経ヶ岬通信所】第14ミサイル防衛中隊長

【航空自衛隊】経ヶ岬分屯基地第35警戒隊長

【近畿中部防衛局】企画部長、企画部次長、京丹後現地連絡所長

○米軍経ヶ岬通信所司令の挨拶

- ・ 交通安全について、日本の交通法規違反を真摯に受け止めている。引き続き京丹後警察署及び防衛局主催の交通安全講習会に参加していく。経ヶ岬通信所の兵士及び請負会社職員に、交通安全の重要性について指導していく。
- ・ 発電機について、引き続き、可能な限り発電機の使用を緊急メンテナンスなど必要不可欠な場合のみに限定した稼働に努める。なお、緊急時の稼働は避けられないことを引き続き御理解願いたい。
- ・ 地域交流について、英会話、海岸清掃や文化交流など引き続き積極的に参加していく。イベントにて皆様にお会いできることを楽しみにしている。引き続き、地域並びに自治体の皆様方と協力し、イベントを随時企画、支援していきたい。

○防衛局の説明・構成員の意見等の概要

(1) 交通事故の状況等及び交通安全に対する取組み

【説明要旨】

- ・ 6月から9月までの間、米軍関係者の交通事故は4件
- ・ 道路工事に伴う交通規制については、京丹後市から情報をいただき防衛局から速やかに米軍に情報共有。野生動物の目撃情報についても、速やかに米側に情報提供。引き続き、交通事故の未然防止対策、地元への交通安全対策に資する情報提供に努めていきたい。
- ・ 京丹後警察に御協力をいただき、米軍関係者を対象とした交通安全講習会を5月に実施。

今後、降雪期を迎えることを踏まえ、次回の交通安全講習会を検討している。

(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 今回の交通事故の報告は4件で、前回の連絡会での報告(0件)と単純比較すれば増加している。今後、降雪期間を迎える中で、降雪時を想定した講習会を実施するなど更なる交通事故防止、交通安全対策の徹底をお願いしたい。

(京丹後市)

- ・ 継続的な交通安全教育の徹底を願いたい。また、可能であれば、交通安全に資するツールを導入するなど、米側に対して実益のある取組みを検討いただきたい。

(京都府)

【回答要旨】

- ・ 交通安全については、従来から米軍関係者に対し交通安全講習会の開催及び地元の交通安全の確保に係る米軍との情報交換を積極的に実施。また交通安全対策推進チームにおいて、これまでチラシの作成・配布及び交通安全講習会の企画・開催を実施してきた。さらに、ヘルプカードの内容を充実させ、米軍関係者に配布し、事故情報の収集強化を図っている。今後とも、警察の御協力をいただきながら、交通安全対策に努めていきたい。

(近畿中部防衛局)

(2) 日米交流事業等

【説明要旨】

- ・ 6月24日、在日米陸軍軍楽隊が京丹後市を訪れ、道の駅丹後王国「食のみやこ」で京丹後市国際交流協会と米軍経ヶ岬通信所共催の演奏会を実施。25日、在日米陸軍軍楽隊は、航空自衛隊経ヶ岬分屯基地で開催された航空自衛隊経ヶ岬分屯基地開庁66周年イベントに参加し、海上自衛隊舞鶴音楽隊と共に演奏を実施。米軍経ヶ岬通信所からも、ヘルメット等を展示するほか、記念撮影を行うなど、来場した方々と交流を行った。
- ・ 米軍は、従前から海岸清掃ボランティアに参加しているところ、7月2日に航空自衛隊経ヶ岬分屯基地の隊員と一緒に袖志区の海岸清掃に参加し、打ち上げられた漁具やロープなどの清掃を行った。
- ・ 8月24日、4年ぶりの穴文殊祭りが開催され、米軍や防衛局からも参加。
- ・ 防衛局としても、地元の皆様とのコミュニケーションが大切と考えており、より多くの地元の皆様に参加していただけるよう、引き続き各種交流事業の企画や支援に努めていく。

(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 日米交流事業が多く実施されることは、市民にとって大変喜ばしいことと認識。引き続き、交流事業を積極的に推進していただきたい。

(京丹後市)

【回答要旨】

- ・ 日米交流事業については、地元の皆様も楽しみにしておられると承知。今後の交流事

業についても、内容が決まり次第、御相談させていただきたい。

(近畿中部防衛局)

(3) その他

【意見要旨】

- ・ 9月に第6回土地等利用状況審議会が開催され、第3回目の区域指定の候補地が提示された。これまでと同様に今後も新たな動きがあれば、速やかに情報提供をお願いしたい。

(京丹後市)

【回答要旨】

- ・ 9月に内閣府で開催された3回目の土地等利用状況審議会において、区域指定の候補として、合計180箇所が提示され、滋賀県、大阪府、兵庫県に所在する防衛施設が18施設含まれていると承知。現在、内閣府において、関係地方公共団体からの意見聴取を行っており、改めて土地等利用状況審議会を開催し、指定について審議するものと承知。防衛局としては、引き続き情報収集を行うとともに、必要に応じて地元への情報提供に努めてまいりたい。

(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 三角地については、地元の貴重な財産を平成31年1月に米軍に提供されて以降、整備が進んでいない。現在の状況について情報提供いただくとともに、引き続き早期に整備されるよう米軍へ強く働きかけ願いたい。

(京丹後市)

【回答要旨】

- ・ 三角地については、米国本土において各種諸手続きを実施していると承知しており、米軍から新たな情報があり次第、地元にお伝えしてまいりたい。

(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 基地内に設置された発電機については、緊急的なメンテナンス等により、やむを得ず夜間や土日に稼働する際には、引き続き事前の連絡を徹底するとともに、停電時など緊急的に稼働した場合であっても、速やかに商用電力への復帰に努めていただきたい。また、地域住民に有意な影響がないことが大前提であるため、騒音対策の徹底と状況把握をお願いしたい。

(京丹後市)

- ・ 停電については、やむを得ないと考える一方、緊急メンテナンスについて、可能な範囲でその要因を御教示いただきたい。

(京都府)

【回答要旨】

- ・ 米軍としても、可能な限り夜間・土日の稼働は控えるということは理解しており、緊急メンテナンス等の場合に限りやむを得ず夜間・土日に稼働する場合があることについては理解していただきたいとのこと。

- ・ やむを得ず夜間・土日に稼働する場合、速やかに米側から情報提供を受けて、防衛局から地元へお知らせしており、今後とも、情報提供に努めていく。また、緊急メンテナンスの要因については、米軍の運用上の問題もあり、難しいと思われるが、可能な限り米軍に確認してみたい。

(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 引き続き、新型コロナウイルス感染症をはじめ、各種感染症の対策の徹底を今後もお願いしたい。

(京都府)

【回答要旨】

- ・ 感染症対策については、基本的な感染症対策の実施など、米側の中で適切に対応されていると承知。

(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 安心・安全連絡会は、地域の安全安心を確保するために設置されていると認識。米軍や行政側の担当者が短い期間で替わるということもあり、課題が引き継がれていないのではないかと思うことがある。構成員が協力して、今後とも対応していただきたい。

(地元住民代表)

【回答要旨】

- ・ 安全・安心連絡会において、これまで議論を重ね、解決できたものもあれば、まだ解決できていないものもあるが、今後とも、皆様方のご意見をお伺いしながら、構成員の方々と協力して、取り組んでいきたい。

(近畿中部防衛局)

以上